

5 徒然草（久しく隔たりて会ひたる人の）

一傍線部の語句の読みをひらがな（現代仮名遣い）で記せ。

〔2点×3〕

①ほど経て見るは、

〔 〕

②語り興ずるぞかし。

〔 〕

③品のほど計られぬべき。

〔 〕

二傍線部の語句の意味を後から選べ。

〔2点×3〕

①数々に残りなく語り続けるこそ、あいなけれ。

〔 〕

ア 愛想が尽きる。厄介だ。

イ 思いやりにないことだ。

ウ 興ざめだ。つまらないことだ。

②つぎさまの人は、あからさまに立ち出でても、

〔 〕

ア おおっぴらに。

イ ついちよつと。

ウ 明白に。

③みな同じく笑ひのしる、いとらうがはし。

〔 〕

ア 騒々しい。やかましい。

イ 不作法だ。乱暴だ。

ウ ご苦勞なことだ。

三傍線部の形容詞の活用の種類を a・b から選べ。同じ

記号を何度選んでもよい。

〔2点×4〕

a ク活用 b シク活用

①久しく隔たりて会ひたる人の、

〔 〕

②数々に残りなく語り続けるこそ、あいなけれ。

〔 〕

③ほど経て見るは、はづかしからぬかは。

〔 〕

④よからぬ人は、たれともなく、あまたの中にうち出でて、

〔 〕

四傍線部の助動詞の終止形を記せ。

〔2点×5〕

①わが方にありつること、

〔 〕

②隔てなく慣れぬ人も、

〔 〕

③品のほど計られぬべき。

〔 〕

④そのことなど定め合へるに、

〔 〕

⑤おのが身をひきかけて言ひ出でたる、いとわびし。

〔 〕

(解答) [計30点]

一 ①へ ②きょう ③しな

[2点×3]

二 ①ウ ②イ ③ア

[2点×3]

三 ①b ②a ③b ④a

[2点×4]

四 ①つ ②ぬ ③ぬ ④り ⑤たり

[2点×5]